

ROYAL



CONCERTGEBOUW ORCHESTRA

CONCERTGEBOUW

ORCHESTRA

ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団



指揮：
マリス・ヤンソンス
Conductor: Mariss Jansons



[11/16] ピアノ：
エマニュエル・アックス
Piano: Emanuel Ax

2013年 11/16 (土) 18:00
サントリーホール

Saturday, November 16, 2013 at 6 p.m.
Suntory Hall

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番 八短調 op.37
Beethoven: Piano Concerto No.3 in C minor op.37

ピアノ：エマニュエル・アックス
Piano: Emanuel Ax

R. シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」 op.40
R. Strauss: Symphonic poem "Ein Heldenleben" op.40

2013年 11/18 (月) 19:00
東京文化会館

Monday, November 18, 2013 at 7 p.m.
Tokyo Bunka Kaikan

ワーヘナール：序曲「じゃじゃ馬ならし」 op.25
Wagner: Overture "De getemde feeke (The Taming of the Shrew)" op.25

ストラヴィンスキー：バレエ「火の鳥」組曲 (1919年版)
Stravinsky: Ballet "Firebird" Suite (1919 ver.)

チャイコフスキー：交響曲第5番 小短調 op.64
Tchaikovsky: Symphony No.5 in E minor op.64

[料金・両日共]

S¥30,000 A¥25,000 B¥20,000

C¥15,000 D¥9,000 プラチナ券¥35,000



「心より出で、ふたたび心に入らんことを」 ——祝コンサートヘボウ管125周年、ヤンソンス就任10年

ヤンソンスが毎年必ず日本にやって来るということは、思えば私たちにとって奇跡にも近い幸せである。実力と人気と実績のどの面からみても押しも押されぬ世界第一人者の演奏を、毎年きまって、居ながらにして味わえるのだから。しかも、シェフとしてヤンソンスが年ごとに交代で帯同する二つのオーケストラは、どちらも世界屈指の名門であり、ことに今、ともに最高の芸術的コンディションにあるという評価を勝ち得ている。

ヤンソンスの演奏の魅力は、不断の研究と熱心で的確なブローベに基づく演奏の密度の高さにあることはもとより、その完璧さが、つねに温かい人間味に包まれて、奥行きある豊かな音楽空間を形成してゆくところにある。「心より出で、ふたたび心に入らんことを」——ヤンソンスの演奏を聴くと、いつもきまって思い浮かぶのは、ベートーヴェンのこの言葉だ。聖聖の願いが成就する瞬間を見たような気がするのだ。ヤンソンスの「心」が楽員ひとりひとりの「心」に伝わり、それが生命感に満ちた一期一会の音楽をつくり上げて、満場の聴衆の「心」に染み入り、揺さぶる。

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団は今年、創立125周年を迎える。ただでさえ高いこのオーケストラの楽員たちのモチベーションは、さらに一段と高まっていることだろう。また、ヤンソンスとのコンビも今年で10年目となる。まさに黄金コンビ。今や世界の音楽界の至宝であると述べても過言ではあるまい。プログラムには《英雄の生涯》、《火の鳥》、チャイコフスキーの第5交響曲など、ヤンソンスの得意曲が並ぶ。最円熟期に入った心優しい名匠アックスのソロによるベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番も楽しみだ。

岩下 真好(ドイツ文学者/音楽評論家)

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 Royal Concertgebouw Orchestra



1888年創設で今年125周年を迎える。当初からヨーロッパ最高のオーケストラに名を連ね、メンゲルベルク、ペイナム、ハイティンク、シャイーら首席指揮者の指導と多彩な客演指揮者の手で、柔軟性に富む、世界に2つとないキャラクターをもつ最上質の音が築き上げられた。創立100周年の1988年に女王から「王立」の称号を贈られ、2004年にはマリス・ヤンソンスが首席指揮者に就任。同時代の作曲家たちとも密接に関わり時代をリードしており、英グラモフォン誌オーケストラ・ランキングでは第1位となった。録音も膨大で1100点にも及ぶ。

マリス・ヤンソンス(首席指揮者) Mariss Jansons, Chief Conductor



1943年ラトヴィア生まれ。レニングラード音楽院で学び、スワロフスキーとカラヤンにも師事。オスロ・フィルやピッツバーグ響の音楽監督を務めて名声を博し、2003年からバイエルン放送響の音楽監督、翌2004年にはロイヤル・コンサートヘボウ管の首席指揮者に就任。誠意と剛毅をもって、常連であるベルリン・フィルやウィーン・フィルをはじめ超一流の主要オーケストラを指揮する、世界でもトップ指揮者の一人。

エマニュエル・アックス(ピアノ) Emanuel Ax, Piano



ポーランド生まれ。1974年にルービンシュタイン国際コンクール優勝。毎シーズン、アメリカの主要オーケストラや、ベルリン・フィル、ミュンヘン・フィルなどと共演し、ヨーヨー・マやP. ゼルキンらと室内楽を行い、また20世紀音楽にも力を入れて目覚ましいピアノズムを披露している。ソニー・クラシカルと専属契約を結び、ハイティンク指揮ボストン響とのブラームスの協奏曲、ハイドンのソナタなど名盤も数多い。

FE 富士電機
Innovating Energy Technology

明日と響きあう、技。

富士電機は、電気、熱エネルギー技術を究め続け、安全・安心で、持続可能な社会の実現に貢献します。エネルギーを最も効率よく利用できる製品を通じて、世界の明日を支えていきます。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

<http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 197-904[サントリーホール]/197-906[東京文化会館])

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 5/18(土)10:00~

twitter @kajimoto_News

f <http://www.facebook.com/kajimotomusic>

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金の設定のある公演も場合がございます。詳しくはお問合せください。